

三条別院のご案内

MONTHLY NEWSLETTER FROM
SANJO-BETSUIN 2026. 3

Tel 0256-33-0007 E-mail sanjo-betsuin@wing.ocn.ne.jp HP https://sanjobetsuin.or.jp

三条別院に想う

「変わるもの、変えてはならないもの」 家本久和
(名古屋教区 第23組阿彌陀寺 横浜別院列座・書記)



さて今回、苦楽を共にした畏友からお声をいただき、「三条別院に想う」に寄稿させていただくことになりました。思い返すと三条別院にはこれまで三度参拝させていただきました。一度目が2006年6月、二度目が2015年5月の三条別院宗祖750回御遠忌法要、そして三度目が2025年4月でした。そうすると、約10年おきに参拝していることとなりますが、不変的な事柄として「三条別院が地域の教化の中心道場として存在し続けている」ということが言えるかと思えます。至極当然のような話ですが、物事を維持し続けることはとても大変なことだと思います。

私は横浜別院の列座・書記を21年間奉職しているのでよく理解できますが、基本的にはどの別院も一日の業務は毎日同じ事の繰り返し、ルーティーンがあります。毎朝、本堂を開けてお朝事の準備をし、お朝事を勤めて仏供をお備えし、正午に仏供をお控えし、夕方になるとお夕事を勤めて本堂を閉めるという流れが決まっています。その流れの中に、宗祖ご命日、先門首ご命日や歴代上人ご命日、七高僧ご命日や聖徳太子ご命日が組重なってその日一日の流れが決まります。ですから、三条別院に参拝するたびに別院を常に支えてくださっている方々のご苦勞に思いを馳せるわけです。継続する力は一人ひとりの願いが形となって具現化されているわけで、長い歴史の中で誰一人欠けていても現在の三条別院の姿はなかったのではないかと思います。また首都圏にある横浜別院と違って、三条別院は300年以上の歴史と新潟県内最大級の木造建築寺院であり、その上に親鸞聖人流罪の地という土徳が根付いているわけです。お念仏が薫る地域という言葉がぴったりかもしれません。

しかしながら皆さまもお気づきでしょうが、少子高齢化による人口減少・過疎化、AIによる急速に発展し変化する現代社会に、今後別院がどのように向き合っていくのかということが、別院に携わるすべての方々の大きな課題であると思われます。別院に携わるからこそ、その思いは三条別院も横浜別院もすべての別院で共通する願いだと思います。また共に願うからこそ、地方と都市部の別院が互いの地域性を理解し、手を取り合い連携することが、時代思潮の中で、今後益々必要であると思われます。最後に私が大切にしている言葉を紹介して終わらせていただきます。ありがとうございました。合掌

パンの為、職責の為、人道の為、国家の為、富国強兵の為に、功名栄華の為に宗教あるにはあらざるなり。人心の至奥より出づる至盛の要求の為に宗教あるなり。

『御進講覚書』(清沢満之)

(意識) 食料のため、職務上の責任のため、人として行なうべき道のため、国家のため、経済を発展させて国を豊かにし、軍隊を強くするため、手柄を立て、名をあげることや権力・財力によって世に時めき、栄えることのために宗教があるのではない。私たち人間の心の奥底から湧き出る「ほんとうに生きたい」という願いに応えるものとして、宗教がある。

○次回の「三条別院に想う」は、

高尾 崇瑛 氏 (中越11組浄善寺、難波別院列座) よりご執筆いただきます。



春彼岸会、法話講師決定
& 釈迦礼弁当申込募集中!

【今月のトピック記事】

2月3月 ピックアップ

基本どなたでもお参りいただけます。
詳しくはホームページ及び案内チラシをご覧ください。
行事報告は基本はホームページで別院だよりでは不定期で行います。



【児童夏のつどい実行委員として子どもたちとキャンプをする小柳氏】

▼定例法話

小柳 円晃 氏 (第19組明願寺)

3月13日 (金) 13時30分から15時

毎月13日闍如上人のご命日にあわせて定例法話会を開催しております。
いずれも13時30分から14時30分、その後30分ほど座談会

▼春彼岸会・全戦争犠牲者追弔法会

春彼岸逮夜法要

安原 陽二 氏 (中越12組安浄寺)

3月17日 (火) 13時30分から15時

春彼岸日中法要、逮夜法要

井上 正 氏 (第10組受徳寺)

3月18日 (水) 10時から12時、13時30分から15時

春彼岸日中法要兼全戦争犠牲者追弔法会

北條 頼宗 氏 (第6組照行寺)

3月19日 (木) 10時から12時



安原 陽二 氏



井上 正 氏



北條 頼宗 氏

▼1995年の戦後50年の節目から全戦争犠牲者追弔法会を勤めており、今年で第30回となります。春彼岸会 [3月17日 (火) ~19日 (木)] 19日日中兼修。法要への出仕者 (内陣・外陣) も募っております。次第・装束はHP及び案内チラシをご覧ください。

▼釈迦礼(しゃかれい)弁当—sha curry lunch box—

野菜のカレー他、さまざまなスパイスのおかずが詰められています。3月18日 (水) 正午~。要予約、限定60食 冥加金: 2,000円 (当日)

お申込みの際には①氏名②住所③連絡先を3月11日 (水) までに別院へお知らせください。





▼御命日のつどい

田澤 友生 氏 (第19組明誓寺) 3月28日(土) 10時から12時

にて日中法要、その後旧御堂にて法話・座談会の場を開いております。
なお前日(27日)はお逮夜法要を13時30分よりお勤めしております。

◆会場 三条別院 本堂・旧御堂

◆お勤め(御命日 日中法要)

文類偈 行四句目下(同朋唱和)

念仏讃 淘五

和讃 回り口 次第六首

回向 願以此功德

◆今後の講師一覧

3月以降は定例布教の講師が担当します。

▼子ども奉仕団



【御誕生仏に甘茶をそそごう】

三条別院では毎年、お釈迦さまのお誕生日(4月8日)と、親鸞聖人のお誕生日(4月1日)に合わせて、子どもたちにお寺での生活や仏教の教えに触れてもらおうと、子ども奉仕団を開催しております。日程を通して、いのちの大切さや本当の自分自身の姿について考える時間を持ち、何よりも楽しく過ごしたいと考えております。家の宗教(宗派)や参加歴の多少など関係ありませんので、誰でも気軽にご参加下さい。

◆日時 4月4日(土)から5日(日)

◆会場 三条別院(三条市本町2-1-57)

◆対象 小学校1年生~6年生まで(新2年生~新中学1年生)

◆定員 40名(先着順で締め切らせていただきます)

◆参加費 5,000円

※チラシの日程等は変更になることがあります。

その他の講座案内&随時募集中

○別院声明教室

夜の部(18時~20時) 昼の部(15時~17時)

昼の部講師 別院列座 夜の部講師 倉井 光弥氏(中越11組養泉寺)

2月20日(金) [済]・3月23日(月)・4月17日(金)・6月1日(月)

6月29日(月) (全5回)

昼の部は赤本(正信偈草四句目下念讃淘三)、日常法務、夜の部は正像末和讃の繰読みです。日程は同朋会館のチラシをご覧ください。

○別院書道教室(東友会)

[毎月第2、第4水曜日 18時30分~20時]

講師 木原 光威氏(新潟県書道協会理事) 月謝3,500円(テキスト代含)

○有志の会庭講[毎月13日]

ご一緒に別院のお庭を整備しませんか? 毎月13日10時から、午後は定例法話を聴聞します。1月と8月は休会です。

【活動報告】2月13日(金)、2026年活動計画会議が開催され、昨年の活動報告と今年の活動計画(案)が話し合われました。今年は庭講主催で、どなたでも参加可能な「庭師による庭木の冬囲い講習」を計画しています。開催が決定しましたら、皆様に参加募集のお知らせをさせていただきますのでよろしくお願いいたします。

また、予ねてからの懸案として、庭講員の人手不足が問題となっていま



【昼は「正信偈」夜は「和讃」】



【雪で梅が折れてしまいました】

す。どなたでもお気軽にご参加いただければと思いますので、お庭にご興味のある方はご参加をお待ちしております。

○有志の会花講

花講は別院の立花を、有志の会は別院行事に併せた奉仕活動や季節ごとの懇親会を行っております。

○別院奉仕研修について

【奉仕研修冥加金】

1人あたり半日（午前または午後）500円、1日1,000円

1泊2日は上記の冥加金に順じて半日500円で計算する。

【その他実費でいただくもの】

①講師謝礼 列座によるお内仏のお給仕・法話は研修冥加金に含まれる。

②シーツ等クリーニング代1,000円 ③食事代 ご要望等ご相談承ります。

○団体参拝及び諸殿拝観について

列座が諸殿拝観などを行います。日程等お気軽にご相談ください。

○フードバンクを継続募集中

2月の別院フードドライブは匿名含め多くの方々にご協力いただき御礼申し上げます。次回引き取り予定日は3月24日（火）です。

編集後記

先日、朝起きたらくしゃみと鼻水が止まらず、目にも違和感があったので、お休みをいただき耳鼻科を受診した。2時間待たされた挙句、レントゲンと血液検査をしたところ、医師からは「結果は2週間後だけど、恐らく花粉症だろうね」とのことだった…

正直ショックだった。家族にひどい花粉症がいるのでその辛さは間近で見てわかっているつもりだったのだが、いざ自分になってみると（まだ花粉症だと決まったわけではないが）こんなに辛いものだったのかと、世の花粉症に悩まされている多くの人の気持ちが初めてわかったような気がする。

…いや、本当に辛さがわかったと言い切っていいのか。私など今まで自分は花粉症じゃないからと、室内に花粉を持ち込んだり、メガネやマスクなどの対策を全くしないまま今日に至り、そしてついに発症（多分）したのである。これは、花粉症に対してナメた態度をとり、全く対策してこなかったまさに自業自得な結果ではないだろうか。幸いにも薬の効果で症状は治まってきたが、これから春先から夏にかけて、十分に注意しようと思う。（小原）